#### 中学校給食センター整備事業について

町田市では、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、給食 センター方式による全員給食実施に向けた取組を進めています。中学校給食センターの整 備について、事業の進捗状況を報告いたします。

#### 1 PFI 事業 (町田忠生小山エリア・南エリア)

#### (1) PFI 事業者の決定

2022 年 8 月 1 日から公募型プロポーザルにて事業者選定手続を行い、町田市中学校 給食センター整備運営事業候補者選考委員会(以下「選考委員会」)による選考を経て、 「シダックス大新東ヒューマンサービスグループ」を PFI 事業者として決定しました。 同グループによる事業提案の概要は、2 ページのとおりです。

#### (2) PFI 事業契約の締結

上記、PFI 事業者により、2月13日付けで本PFI 事業の事業主体となる特別目的会社「町田中学校給食サービス株式会社」が設立され、町田市議会での議決を経て、同社との間で、3月29日付けで、PFI 法に基づくPFI 事業契約を締結し、事業に着手しました。

#### 2 リース事業(鶴川エリア)

2022 年 11 月 15 日から再公募した事業者選定手続について、PFI 事業と同様に選考委員会による選考を経て、「大和リースグループ」をリース事業者に決定しました。 2023 年 3 月 29 日にリース契約を締結し、事業に着手しました。

同グループによる事業提案の概要は、3ページのとおりです。

#### 3 事業スケジュールについて(予定)

2023年 3月 事業契約の締結

2023年12月 【町田忠生小山エリア】整備工事開始

2024年 1月 【南】・【鶴川エリア】整備工事開始

2024年度2学期 【堺エリア】全員給食開始

2024年度3学期 【鶴川エリア】全員給食開始

2025年度1学期 【町田忠生小山エリア】全員給食開始

2025年度2学期 【南エリア】全員給食開始

#### ■事業コンセプト

「子どもの未来のために」「住まう人の未来のために」「まちの未来のため に」の3つの取組姿勢のもと、「「ここにしかない新たな給食センターモデル の創造」、「地域の人々が集い交わる新たな場づくり」をコンセプトに、本事 業をつうじて、市民の学びと健康、地域活性化、市の財政負担の軽減に取り 組む。

## ここにしかない新たな給食センターモデルの創造

給食だけを提供する従来の枠に止まらず、「市民の健 康増進」と「地域の活性化」に資する施設整備と運営 を実現し、ここにしかない新たな給食センターモデル を創造することで、市民サービスの充実化を図るとと もに、市のブランディングに貢献

# 地域の人々が集い交わる新たな場づくり

市内の企業・農業生産者・スポーツ団体等市内で活動 するさまざまな地域資源とのコラボレーションと、周辺 施設との相乗性を高める取組みを重畳的に展開するこ とにより、地域で暮らす多世代かつ多様な人々が集い 交わる新たな場づくりを実現

#### 給食センターを拠点とした取り組み 🥒 民間企業との 食を学ぶ 農業体験 コラボ 地域の健康増進 地域経済の活性化 地域活動 地域の 料理教室 雇用促進 支援 食材を学ぶ Collaboration 地域活動支援 地域で活動する 子育て支援 - 暗宝老支援

#### まちだの未来を切り拓く新たな給食センターの価値形成 🥒

#### 取組方針 市民の学びと健康に つながる価値

の増進に寄与する価値をもたらす

地域が交わり 活性化する価値

「食」を基軸とした健康教室や学習体験 地域の資源と連携した多彩な取組みによ 子育てを支援する取り組みや健康寿命 プログラムを通じて、地域で暮らす子ど り幅広い利用を促し、多世代かつ多様な もから高齢者までの知徳の醸成と健康 市民が集い交わる機会を創造する、新た な場づくりに寄与する価値をもたらす

取組方針 財政負担が 軽減する価値

の延伸に資するプログラムの提供によ り、地域で募らす価値を高め、市の住民 サービス充実化と社会保障費低減に寄 与する価値をもたらす

#### ■町田忠生小山エリア



○市内飲食事業者と協働したカフェ運営やコワーキングスペースの貸出事 業、各種イベントの実施などを行う「市民交流施設」や屋外の「子育て広 場」を併設した、地域の拠点とする。

■南エリア



 $\bigcirc$ 恩田川に面して、公園、カフェ、屋上テラスを配置し、河川沿いの豊か で魅力的な空間を形成し、市民の憩いと交流の拠点とする。

- ・環境負荷低減の取組として、ZEB READY※の達成を目指す。 ※一次エネルギー消費量を基準値より 50%以上削減した建物のこと
- ・防災・災害対応として、熱源をLPガスに切り替えられる移動調理釜を配備するとともに、災害時には、運営企業の全国ネットワークを駆使した温も りある炊き出しを提供する。

<提案施設緒元>

鉄骨造平屋建て/延床面積 2,760.76 ㎡/消防器具置場併設

<提案施設緒元>

鉄骨造 2 階建て/延床面積 2,465.24 ㎡/雨水調整池・街区公園併設



○市内の様々な企業や各種団体等と連携し、**従来の給食センターの枠を超え** た新たな価値を形成する取組みの連続により、本施設が地域交流のハブ機能 を担い、地域に愛され続ける施設を実現する。

市内カフェ等飲食事業者との連携	生産者と消費者が出会う場の創造	市内スポーツチームとの連携
地元をもっと豊かで誇れる街にする活	町田薬師池公園四季彩の杜西園	地元のプロサッカーチームやフッ
動に全力を尽くしている市内でカフェ	で既に実施している「LOCAL ファー	トサルチーム等と連携協力し、
等飲食事業を展開する企業と連携	マーズマーケット」を実施し、地域の	「食×スポーツ」をテーマとしたイ
し、給食センターの新たな価値を形	生産者と消費者が出会い、顔の見	ベントや教室等を実施すること
成する場を創出	えるコミュニケーションの場を創出	で地域の人々の新たな交流と
		健康増進の場を創出

○周辺施設や地域住民に向けた多様な食のサービスについて、市と協議して 実施を図る。

#### <調理エリア>

荷受け

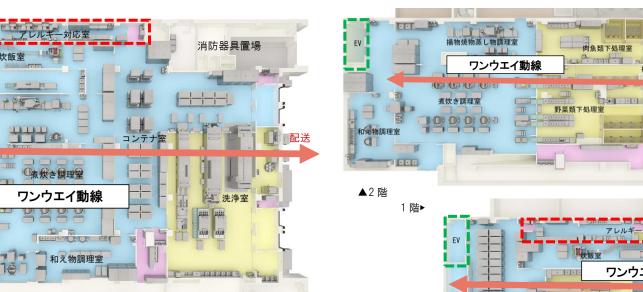
検収室 1

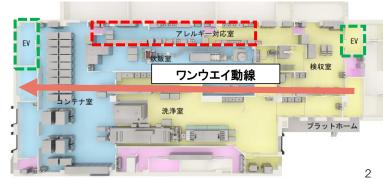
COLUMN TO SERVICE OF THE PARTY OF THE PARTY

EEE

<調理エリア>

- ・今後生徒数が減少していく傾向を踏まえて、調理運営上の工夫により、極力無駄の省いた厨房設備計画とする。
- ・手づくりの多い市の献立の特徴を踏まえ、安全で質よく提供できる調理方法を提案するとともに、食物アレルギー専用食を安全かつ確実に調理・配送 するための施設・体制を確保する。
- ○平屋建てを活かして、食材の荷受けから調理・配送・洗浄まで、明快な ワンウェイ動線を確保した施設とする。
- ○多層階型の給食センターとし、通常食とアレルギー食の調理フロアを分離 するなど、安全・衛生的な給食調理ができる施設とする。





### **(仮称)町田市中学校給食センター(鶴川エリア)リース事業 事業提案の概要**

#### ■事業コンセプト

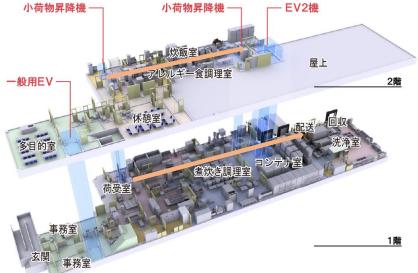
「地域とつながり健康をつくる安全・安心の給食センター」「多世代がつながり、新たな可能性が未来にひろがる給食センター」をコンセプトに、事業期間全体を通して、「子ども、食育、健康、地域、環境」の視点から社会課題・地域課題の解決に貢献する。

#### ■施設イメージ

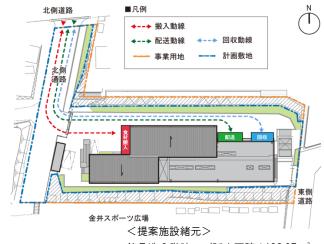


- ○時限的な施設であることを踏まえ、手づくりの多い市の 献立に対応しながら、極めてコンパクトで効率的な施 設・設備の構成を実現。
- 〇環境負荷低減の取組として、ZEB READY※の達成を目指す。※一次エネルギー消費量を基準値より50%以上削減した建物のこと
- 〇スポーツ広場利用者も利用しやすい多目的室やトイレ を併設する。

#### <調理エリア>



# 



鉄骨造 2 階建て/延床面積 1428.67 ㎡

- ○多層階型の給食センターとしなが ら、明快なワンウェイ動線を構築。
- ○食物アレルギー専用食を安全かつ 確実に調理・配送するための動線 設計とする。
- 〇住宅地に近接して設ける施設として、臭気や騒音、車両出入等について周辺住環境に十分に配慮した施設計画とする。
- 〇防災·災害対応として、災害時炊き 出し用釜を配備する。

#### ■提案事業・自主事業

- 〇市と連携・協力して、市内有名店等とのコラボ献立の開発、まちべジ市の誘致など農業振興に資する取組を検討する。
- 〇給食センターの余剰時間·余剰機能の有効活用を図り、地域へのサービス提供につながる取組を、運営事業者とともに検討する。
- 〇町トレの実施支援や、まちかど子どもギャラリーへ参加 など、地域活動に積極的に関与する。







